

事業シート（概要説明書）

予算事業名	魅力ある観光地づくりグレードアップ支援事業費	事業開始年度	平成17年度
上位施策事業名	観光地域資源活用事業費	担当部局	農水商工部
根拠法令	なし	担当室	観光・交流室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	国内誘客1G
事業の必要性・実施の背景	観光を取り巻く環境が非常に厳しい中、多様な観光需要、観光地間競争に対応していくためには、常に県内各地が魅力ある観光地として快適性・利便性・話題性を創出し続ける必要がある。さらに、近年の観光客の旅行形態の変化により、市町の枠を越えた広域性・周遊性への取組も求められている。		
目的 (何をどうするために)	観光地および観光・交流産業に携わる人々が、地域資源を最大限に活用し、多くの観光客を惹きつける魅力にあふれ、質の高いサービスを提供することにより、県内全体への誘客や周遊性・滞在性の向上が図られている。		
目標 (何がどうなれば達成か)	観光地の快適性・利便性・話題性の創出など、地域が主体的かつ持続的に観光地づくりに取り組むとともに、来訪者の満足度向上と県内各地への誘客が図られることを目標とする。		
対象 (誰・何を対象に)	県内市町及び観光事業者等		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕 (補助先: 別紙のとおり 実施主体: 別紙のとおり)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業概要 事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>魅力ある観光地に必要な、快適性・利便性・話題性の創出に向けて、地域が主体的に行う取組に要する経費の1/2以内の範囲内で、市町又は広域の協議会等に対し補助金を交付する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 交付対象</p> <ol style="list-style-type: none"> ①単独の市町 ②単独の観光協会 ③市町を含む任意の協議会 ④観光協会を含む任意の協議会 ⑤その他観光振興を図るための交付対象として適当と認められる団体 <p>(2) 補助金交付額 一事業につき250万円以内 (市町単独申請の場合は、100万円未満は補助対象外)</p> <p>(3) 補助対象期間 一事業につき原則2年以内</p> <p>(4) 補助対象の事業例</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 統一性のある案内標識等の観光客への情報提供の充実 ② 観光地散策をサポートする散策ルートの設定、仕掛けづくり、語り部の育成等 ③ 医療・健康・福祉、体験型、産業観光等新しいツーリズムの創出にかかる取組 ④ 散策マップ作成等地域情報の提供にかかる取組 ⑤ 自然・歴史・文化資源の発掘・保全・活用にかかる取組 ⑥ 観光地づくりと一体となったマーケティング等調査、研究、開発及び観光商品づくり ⑦ モニターツアー、開発商品のPRにかかる取組 ⑧ 観光地づくりと一体となった観光地マネージャー、観光従事者等の育成にかかる取組 ⑨ まち(観光地)としての新たな魅力を発掘し、にぎわいを創出することにより、結果として来訪者の話題を呼び、リピーターの確保につながる取組 		
関連事業 (同一目的事業等)	三重の観光プロデューサー設置事業		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		魅力ある観光地づくりグレードアップ支援事業費				事業開始年度		平成17年度		
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
		旅費	150 千円		178 千円		132 千円		280 千円	
		需用費	120 千円		119 千円		216 千円		214 千円	
		委託料	3,400 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		負担金・補助及び交付金	14,960 千円		14,650 千円		14,515 千円		17,907 千円	
	その他	60 千円		60 千円		60 千円		60 千円		
	事業費合計	18,690 千円		15,007 千円		14,923 千円		18,461 千円		
	人件費	担当正職員	1 人	9,008 千円	0.91 人	8,702 千円	0.91 人	8,664 千円	0.91 人	8,550 千円
		臨時職員等	0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円
		人件費合計	1 人	9,008 千円	0.91 人	8,702 千円	0.91 人	8,664 千円	0.91 人	8,550 千円
総事業費	27,698 千円		23,709 千円		23,587 千円		27,011 千円			
財源内訳	国庫支出金	1,760 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	その他特財	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源	16,930 千円		15,007 千円		14,923 千円		18,461 千円		
	財源合計	18,690 千円		15,007 千円		14,923 千円		18,461 千円		
事業実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度			
	魅力ある観光地グレードアップ支援件数			件	19	22	25			
	効率指標 (事業費/活動指標)			総事業費 / 支援件数	1,248	1,072	1,080			
事業成果	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度			
	魅力ある観光地グレードアップ支援件数			件	19	22	25			
	観光客満足度			%	61.8%	59.3%	63.2%			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>これまで県内各地域の観光地づくりの機運の醸成や情報発信等に、本制度が果たしてきた役割は大きく、三重の観光プロデューサー制度とあわせた支援は、他県に先駆けた取組として、地域にとっても欠かすことができない支援制度となっている。これまで、受入体制の整備や誘客に繋がる観光商品づくりに対しても支援を行ってきたが、より一層地域における取組を進めていく必要がある。また、市町の枠を越えた広域性・周遊性への取組については、三重の観光プロデューサーが地域に入り、一部の地域で本制度を活用した取組が進んでいるが、さらに県内全域での取組に広げていく必要がある。このため、おもてなしの向上などの受入体制の整備や観光商品づくりへの支援を行いつつ、今後は、市町の枠を超えた広域的な組織への支援をより重点的に行っていく。そのような支援を継続することで、多くの来訪者が期待できる式年遷宮時に、伊勢を起点とした県内各地への周遊性・滞在性の向上を図るとともに、遷宮後も持続する観光地づくりに繋げていく。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>地域が行う観光振興の取組に対し補助金制度を設けている → 28 県 (H22.5調べ) その補助率 1/2 以内・・・25 県、 その他 (1/3、2/5)・・・3 県 28 県のうち、観光施設整備等ハード事業に対しても補助を行っている → 15 県</p>								
特記事項 (事業の沿革等)		<p>平成17年度に制定された本制度は、三重県観光振興プランの中でも、三重の観光プロデューサー事業とあわせ、観光地の魅力づくり戦略における重要な支援ツールとしてこれまで位置付けられてきた。その後、平成20年には、観光立国実現のため観光庁が発足し、国家戦略として観光への取組が進められてきているが、市町の観光振興への機運は高まりつつある中で、その取組を一層促進するためにも、引き続き、地域の実情に応じた県の支援・補完が必要である。また、平成23年第3回定例会に「みえの観光振興に関する条例案」を提案する予定である。</p>								